

令和6年度（2024年度）第1回上下水道事業運営審議会議事録（要旨）

I 日 時 令和6年（2024年）10月4日（金）午前9時30分～11時30分

II 場 所 上下水道局別館3階 大会議室

III 出席委員 7名（50音順）

伊藤紘晃委員、川田晃仁委員、篠原亮太委員（会長）、津曲明子委員、松岡龍一委員、宮瀬美津子委員（副会長）、森口沙羅委員

IV 事務局（市側）出席者

田中上下水道事業管理者、江藤総務部長、藤本計画整備部長、角田維持管理部長、岩本首席審議員兼総務課長、福田計画調整課長、島村水道維持課長、福島料金課長、坂口給排水設備課長、佐藤水道整備課長、西村下水道整備課長補佐、日高下水道維持課長、河田首席審議員兼水運用課長、濱野審議員兼水質管理室長、山本水再生課長、宮邊経営企画課長、山下経営企画副課長 他4名

V 傍聴者 0名

VI 次 第

1 開 会

2 委員紹介

3 事務局紹介及び管理者挨拶

4 会長及び副会長の選任

5 議 題

（1）令和5年度決算について

（2）令和5年度熊本市上下水道事業経営戦略の事業評価について

（3）上下水道事業経営戦略の改定（中間見直し）骨子案について

（4）その他

6 閉 会

VII 議事録

●議 題

（1）令和5年度決算について	
令和5年度決算について事務局から説明	
篠原会長	事務局の説明について、ご意見、ご質問をお願いします。
松岡委員	下水道事業について、「下水道浸水対策計画 2023」によると、令和6年度以降に概算事業費として200億超の投資が必要とのことだが、その増額分については、令和5年度に東部浄化センターの高度処理施設が完了したため、（その分を差し引くと）今後の総額としては増えないということか
事務局	下水道事業の浸水対策については、汚水事業と雨水事業を実施しており、事業費のトータルは経営戦略（財政見通し）に基づき実施していくこととなる。今後は、（汚水事業である）東部浄化センター高度処理施設の完了分や（雨水事業である）浸水対策事業費などを調整しながら、総事業費が単年度で膨らみすぎないように実施していく。
松岡委員	東部浄化センター（高度処理施設）が令和6年度から供用とのことだが、事業完了という意味でよいか。
事務局	今年度、高度処理施設の外部の場内整備を行っているが、施設内部の工事は令和5年度で完了している。

松岡委員	決算において、水道事業・下水道事業のどちらも大幅に動力費が下がった要因は。
事務局	電気・ガスの価格激変緩和対策としての補助金を活用したためである。

(2) 令和5年度熊本市上下水道事業経営戦略の事業評価について	
令和5年度熊本市上下水道事業経営戦略の事業評価について事務局から説明	
篠原会長	事務局の説明について、ご意見、ご質問をお願いします。
松岡委員	確認になるが、資料2-1と資料3-1、の再生可能エネルギー発電量の数値が異なるが、どちらが正しいか。
事務局	大変申し訳ございません。資料2-1が正しい数値である。
篠原会長	資料2-1のP2有効率がC評価となっており、年々低下気味となっているが原因や対応方法を教示いただきたい。
事務局	有効率低下の要因は「漏水」と「配水量を計るメーターの誤差」の2つが考えられ、漏水については計画的な漏水調査や漏水防止対策を行っており、メーターの誤差についても定期的に点検を実施している。それでも有効率が低下するのは他にも原因があると考えられるため、局内で検討会を立ち上げ、データ分析や他都市の取組内容を参考にしながら今後の対策について、分析・検討を進めているところ。
篠原会長	古いメーターを使用していると精度が悪かったりするため、新しい精度の高いメーターに付け替えていく必要もあると思うが如何か。
事務局	仰るとおりであり、また、新技術などの情報収集をしながら、有効な水量の把握についても検討しているところ。
宮瀬委員	有効率低下の要因に漏水が増えているとのことだが、水道管を新しくしていくことが大事であり、(資料2-2)取組3の項目8(水道管路の更新延長)では「近年の資材高騰で思うように工事が進まない」とあり、このC評価と有効率のC評価は連動していると思うので、事業計画の見直しが急務である。近年老朽化した上下水道管路の事故があっており、安全という意味でも早急に更新していく必要があると思うので、次の見直しでは根拠に基づく数値で設定いただきたい<感想>
篠原会長	難しい部分もあると思うが、管路の更新については計画的に進めていただきたい。
森口委員	有効率の目標値について、令和5年度の実績が目標値を達成できていないにも関わらず、令和6年度の目標を高めに設定しているのはなぜか。
事務局	目標値の設定については、令和2年3月の計画策定時に設定したものであり、当時の政令指定都市の平均値を最終的な目標値とし、その間は年次割で徐々に上げていくように設定したもの。
津曲委員	資料2-2のP4、「職員からの意見提案数」について、令和5年度に激減している理由として、職員の職場環境がある程度改善されたからなのか、意見を言う機会が少なかったのか、どちらが要因か。
事務局	令和4年度までは局内で意見募集を実施していたが、令和5年度からは本庁の提案制度に一元化した(局内では募集しなくなった)ため、提案の機会が減ったもの。また、局内の意見募集についても減少傾向にあったもの。
篠原会長	新任委員のために、浸水対策事業の必要性等の補足説明をお願いします。
事務局	市街化区域の浸水対策について下水道事業で実施している。重点対策地区として9地区の浸水対策を実施しており、うち3地区が完了している。今後は、新たに改定した下水道浸水対策計画2023に基づき、残り6地区を進めていく。 事業の具体的な内容としては、雨水貯留管の布設や、既存の水路とは別経路に雨水を

	排出するバイパス管を整備している。
篠原会長	改善した地域はあるか
事務局	重点対策地区のうち整備が完了した3地区（若葉・秋津地区、高橋・城山地区、花園・島崎地区の各一部）では、浸水被害が改善されている。

（３）上下水道事業経営戦略の改定（中間見直し）骨子案について	
上下水道事業経営戦略の改定（中間見直し）骨子案について事務局から説明	
篠原会長	事務局の説明について、ご意見、ご質問をお願いします。
松岡委員	①能登半島地震への復旧に関して、熊本地震との違いや現地の様子と、今後災害に対して取り組むべき内容を教示いただきたい。 ②資料 3-1 の P11「再生可能エネルギーの発電量」について、カーボンニュートラルの実現のため、これまでの実績を踏まえて目標値を更に高く設定していただきたい。 ③事業は幅広くされているにも関わらず、人件費（職員数）が減ってきている。社会情勢や生産性の向上などあると思うが、具体的理由を今後の見直しを含めて教示いただきたい。 ④資料 3-2 の財政見直しについて、下水道事業の投資水準が下がっている理由は。
事務局	① 能登半島地震は熊本地震と比べて（エネルギーが）数倍強いと言われており、被害状況も広範囲にわたっていた。今後については、水道事業と下水道事業が一体となって災害対策の取組を強化・加速化するよう進めていくこととされている。経営戦略の改定にあたっては、能登半島地震の課題等も含めて見直しを行い、災害に強いインフラの整備に努めてまいり。 ②カーボンニュートラルに向けた 2030 年までの削減目標として、基準年度から 65%の削減を目標としている。現在の検証指標では再生可能エネルギーの発電量を目標値としているが、今後の検証値設定にあたっては削減割合についても検討してまいります。 ③職員数については、R2 年度の 497 人から R6 年度は 469 人で（28 名の減）年々減少傾向にある。今後は定年延長により正規職員は増加傾向になるが、全体的には減少傾向の見込みである。 ④資料 3-2 下水道事業の投資水準については、資料 3-1 の P7 資本的支出の建設改良費のことを指しており、これまで約 120 億円であったものから約 130 億円と投資額を増やすこととしている。
松岡委員	再生可能エネルギーの創出について、太陽光発電、消化ガス発電、火力発電への寄与、小水力発電の4つがあるが、今後はどれを一番伸ばそうとされているのか。
事務局	今後、実施していくものとしては、施設への太陽光発電の設置や西部浄化センターへの消化ガス発電の導入などを検討している。
伊藤委員	資料 2-2 項番 25、26 の目標値について、東部浄化センターへの高度処理施設の導入に伴い、目標値は「有明海流域別下水道整備総合計画」の数値目標に合わせるべきではないか。
事務局	今後の数値目標については、ご指摘を踏まえながら検討してまいりたい。
伊藤委員	資料 3-1 の P4「3-1 水質保全の取組」について、半導体関連企業の立地による影響と書かれているが、P11 の基本方針 3「水循環の保全」に対応する部分（対応策等）が書かれていないため、反映された方がいいと思う。 また、半導体関連企業からの排水について、受入場所の立地などもポイントとなる。
事務局	ご指摘のとおり、P4 の半導体関連企業の影響について基本方針に言及されていないことに関しては、今後作成する素案の方で盛り込みたいと考えている。

	また、半導体関連企業の工場排水の受入については、T S M Cの第一工場が菊陽町に完成しており、熊本県が所管する「北部浄化センター（熊本市北区鶴羽田）」へ流入することとなっている。また、第二工場、第三工場の話もあっているが、仮に第二工場が北部浄化センターへ流入することとなった場合、処理余力がないため新たな処理場の建設が検討されているところである。
伊藤委員	新たな処理場については熊本県で検討されているのか。
事務局	場所は未定であるが熊本県において整備するとの連絡を受けている。
津曲委員	半導体関連企業の立地に伴い、外国の従業員や技能実習生が増える見込みであり、日本語でのコミュニケーションが難しい方に対して、上下水道のルールを周知することも大事であると思う。そこで、上下水道局の若手職員による海外の方への周知活動など、職員のスキルアップや性別に関わらず活躍できる職場環境づくり、キャリアアップなどを中期実施計画の中に目標として記載してほしい。＜意見＞
事務局	現在の検証指標の中に「研修受講率」があり、主査級を除く 40 歳未満の若手職員を対象に年 10 回以上の受講を目標としている。R5 年度は 151 人中 140 人が達成している状況。委員からご指摘のあった外国人の方への対応については、盛り込めていないので、今後検討してまいりたい。
篠原会長	外国の方への対応は如何か。
事務局	研修内容の充実については、いただいたご意見を参考に、研修計画や経営戦略の見直しの中でどのように盛り込むか検討してまいる。 また、海外から来られた方に対しては、上下水道局のホームページにおいて情報提供が十分にできていないところもあるので、今年度、多言語化への対応を行うなど、生活に根差した情報を提供できるよう準備を進めているところ。
篠原会長	廃棄物関係も同じことが言えるため、環境局と連携をとって海外の方への対応をやっていただきたい。
川田委員	経営戦略の見直しにあたっては、C 評価となっている要因に資材価格の高騰が大きく関係してくると思われ、業者からは人手不足などの課題について相談が寄せられているので、施工のコスト面や人材確保を考慮して目標値を設定していただきたい。 また、料金改定については企業にとって経営が厳しくなるとの声や、消費者の方の生活費にも影響があるため、生活インフラの整備費とベストバランスを考えていただきたい＜要望＞
事務局	ご指摘いただいた状況については十分把握しているところであり、今後加速する人口減少等を見据えたうえで収入予測を立て、支出についても施設や管路の老朽化への対応のため、事業の効率化や費用削減などを図りながら、必要な事業費の確保に向けて、国庫補助金や企業債などの財源確保の手段を検討し、市民負担をできるだけ少なくなるようなバランスの取れた事業経営に努めてまいる。
宮瀬委員	資料 2-1 の P9「地下水かん養量の割合」について、これまで目標値の 20%を一度も超えたことがない。水田湛水事業について今年度からは農家への助成金を値上げしたこともあり、地下水かん養量が増える見込みであると報道であったが、かん養量は協力していただく農家の数に連動していく。来年度以降、農家の高齢化や農地の売却等となってくると見通しが立たない。そのため、毎年度 20%の目標値でいいのか、目標値は変えないとしても目標値を上回る実績を出していかないと地下水量が減少することになると思うので、そのあたりを踏まえて、今後の取組を大きく見直す必要があると思う。また、阿蘇の草原による地下水かん養についても情報収集しながら多面的に対応していく必要がある。 もう 1 点、資料 3-2 の P1「見直しの方針」において、「令和 11 年度まで現行料金水準

	を維持することを基本とし、料金改定の必要性を検討する」となっているが、計画を延長した令和 13 年度までの見通しがどうなるのかご教示いただきたい。
事務局	地下水保全の取組について補足説明になるが、策定当時の県の地下水かん養指針に基づき、地下水採取量の 10%をかん養することが求められているが、当局ではその倍の 20%をかん養することを目標に掲げて取り組んできている。 事業の実施にあたっては、環境局が主体となり当局も連携しながら取り組んでおり、事業費に対して負担金を拠出することで地下水かん養に寄与しているところであるが、20%を超えていないのが現状である。 今後については、協力農家の減少への対応や草原へのかん養の取組など、環境局と協議をしており、それらを踏まえて目標値の設定について検討してまいる。 また、料金水準の見直しについて、元々は令和 11 年度までが計画期間であり、見直し後もその間は現行水準を維持するのが基本であり、計画期間を延長した部分については、今後の 30 年間の収支計画の試算をもとに、どのような料金水準が必要かを検討し、今後素案の段階でご説明してまいる。
篠原会長	最後に 1 点、熊本の川をきれいにするため、(資料 2-1 P5)「公共下水道普及率」をなるべく 100%に近づけるようお願いする。目標は約 0.3 ポイントずつ上昇となっているが、実績が目標値に近づくよう尽力いただきたい。